

健康・生活

- ・自立を目指した生活習慣や社会生活を送るための支援
- ・クッキングやお菓子作りなどを通した食育
- ・時間に応じた行動の切り替え
- ・構造化を意識した掲示物 など

- ・健康状態の維持や改善・生活リズムの安定のために検温や気分の把握のための聞き取りを行います。
- ・食生活や調理に対して興味を持てるようにイベントを通じて、道具の使い方や、方法を学びます。
- ・身辺自立を目指し、その子に合わせたトイレトレーニングや切り替えの方法を提案します。
- ・放課後の居場所となり、安心して事業所に通所できるよう配慮し、心の安定を図ります。

運動・感覚

- 体操やダンス、鬼ごっこなど遊びを通した全身運動
 - 製作物を作成しながら指先を鍛える運動
 - 視覚や聴覚、触覚を刺激するようなゲームやクイズ など
-
- 遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養います。
 - ボルタリングやうんていを使用した、つかむ・支える・バランスをとる等の要素を取り入れた遊具遊びの提供をします。
 - ビーズなどを使った指先トレーニングや、目を使ったビジョントレーニングを実施します。

認知・行動

- ・ブロックなど立体の造形物を使った創作活動
 - ・音楽やリズムを使って五感を刺激する活動
 - ・PCスキルやドローン、ビジョントレーニング など
-
- ・コグトレを使った認知機能トレーニングを実施します。
 - ・不適切な行動があった場合は声掛けを行い、その時の想いや考えを聞いたうえで適切な行動がとれるように働きかけます。
 - ・次の作業に進む際には、時間の意識だけでなく、本人が納得して次の作業に進めるよう、本人の行動も尊重しながら声掛けを行います。

言語・コミュニケーション

- ・遊びやゲームの中で決まりや対人関係を作る
 - ・生活の中で起こる事柄に対するロールプレイング
 - ・考えを発表したり好きなことをプレゼンテーションする など
-
- ・能動的にアクションに起こせる環境を提供することで心が動く瞬間を増やし、話したい・伝えたいというコミュニケーション意欲を高めていきます。
 - ・子ども達が発信するサインに大人が呼応する関わりを通して、疎通性が高まり、「伝わったという実感」を積み重ねられるようにしていきます。
 - ・言語に限らず、表情や仕草、全身運動など様々な手段を通して自らの思いに自信を持ち発信できる環境づくりを行います。
 - ・子ども同士の関わりを大切にし、自主的に協力しあい、助け合うことができるよう見守っていきます。必要に応じて介入し、円滑なコミュニケーションがとれるように働きかけます。

人間関係・社会性

- ・他者との関わりの中で、人間関係・社会性を育む
 - ・自分の気持ちを表現できるように支援する
 - ・ごっこ遊びや模擬店などを通してなりきってみる など
-
- ・子ども同士の関わりを大切にし、自主的に協力しあい、助け合うことができるよう見守っていきます。
 - ・話を聞く場面において、作業に集中している時でも手をとめ話し手に注意を向けることから始め、環境を変える、見本を見せるなどで指示が聞けるようになるよう働きかけます。

家族支援

- ・ 支援の振り返りにおいて、成長と課題を発見し伝え、家庭でのアプローチの悩みや学校での不安事項について面談を行い支援する。
- ・ 連絡帳ツールを用いて気になることや取り組みの様子はデータや写真にし、その日にうちに送信し共有します。
- ・ 大学教授を招きペアレントトレーニングを実施します。
- ・ 家族の休息やリフレッシュの時間を確保できるように助言を行います。
- ・ 子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携し、その後の支援に取り組みます。
- ・ 関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。

移行支援

- ・各児童の所属する教育機関に対し、定期的な情報共有として、モニタリング資料の共有を行う。
 - ・支援上の課題がある場合には、学校や関係機関とのケース会議を提案・実施する。
- ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。

地域支援・地域連携

- ・地域の協議会または連絡会に参加し、制度及び支援についての情報交換を行う。
- ・各児童の所属する他放デイや利用する相談支援事業所に対し、定期的な情報共有として、モニタリング資料の共有を行う。
- ・支援上の課題がある場合には、学校や関係機関とのケース会議を提案・実施します。

職員の質の向上

- ・職員向けの勉強会の実施、支援についての研修参加などで、自己研鑽をする。
- ・発達検査を共有しながら、支援の手立てについて話し合う。支援の中での気づきや変化は職員間で共有し、積極的に話し合いの場を設けます。

主な行事等

- ・毎月、季節の変化に興味を持つてゐるようなイベントの開催、進路選択につながるような体験を行事として提供する。
- ・保護者向けのイベントを主催し、当事者同士での話し合いの場を設けます。